



# 2024年3月期 決算報告

2024年5月9日

1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

# 2024年3月期 通期：ポイント

**売上収益**  
**7,172億円**

- **前年比： +891億円** (前回予想比 +122億円)
  - コンポーネント事業を除く全セグメントで増収
  - 映像事業は、ミラーレスカメラおよび交換レンズの販売数量の増加により増収
  - 精機事業は、ArF液浸露光装置の販売台数増加により増収
  - デジタルマニュファクチャリング事業は、SLM社の売上拡大が寄与し増収

**営業利益**  
**397億円**

- **前年比： ▲152億円** (前回予想比 +37億円)
  - 映像事業は好調を維持し増益
  - FPD露光装置の販売台数やサービス収益が減少した精機事業やコンポーネント事業の減益に加え、ヘルスケア事業やデジタルマニュファクチャリング事業等での一時費用等により、全体で減益

**当期利益\***  
**325億円**

- **前年比： ▲124億円** (前回予想比 +55億円)

**1株当たり配当金**  
**50円**

- **前年比： +5円** (前回予想通り)
  - 中間配当金25円、期末配当金25円

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て  
\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2024年3月期 通期：財務ハイライト

単位：億円	23年3月期 実績	前回予想 (2/8)	24年3月期 実績	前年比		前回予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	6,281	7,050	<b>7,172</b>	+891	+14.2%	+122	+1.7%
営業利益	549	360	<b>397</b>	▲152	▲27.6%	+37	+10.5%
営業利益率	8.7%	5.1%	5.5%	▲3.2P		+0.4P	
税引前利益	570	370	<b>426</b>	▲144	▲25.2%	+56	+15.3%
税引前利益率	9.1%	5.2%	5.9%	▲3.2P		+0.7P	
当期利益*	449	270	<b>325</b>	▲124	▲27.5%	+55	+20.6%
当期利益率	7.2%	3.8%	4.5%	▲2.7P		+0.7P	
FCF	▲1,121	-	<b>▲106</b>	+1,015	-	-	-
ROE	7.4%	4.2%	<b>5.0%</b>	▲2.4P	-	+0.8P	-
EPS	125.46円	77.96円	<b>94.03円</b>	▲31.43円	-	+16.07円	-
年間配当	45円	50円	<b>50円</b>	+5円	-	±0円	-
為替：USドル	135円	143円	<b>145円</b>	売上収益への予想影響			
				+306		+68	
ユーロ	141円	154円	<b>157円</b>	営業利益への予想影響			
				+59		+13	

営業CFの大幅改善に加え、政策保有株式の売却（166億円）が進むも、新本社建設費用によりFCFはマイナス

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

注：予想EPSの前提となる発行済株式数：約346.3百万株

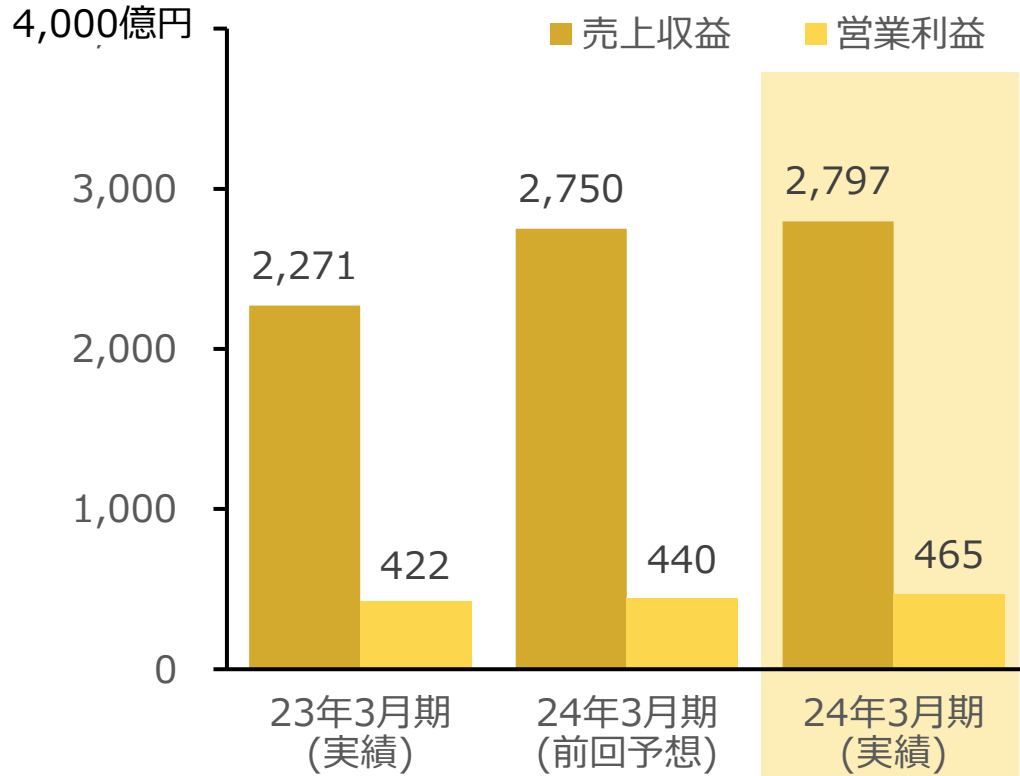
# 2024年3月期 通期：セグメント別業績

単位：億円

		23年3月期	前回予想	24年3月期	前年比		前回予想比	
		実績	(2/8)	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
映像事業	売上収益	2,271	2,750	<b>2,797</b>	+526	+23.2%	+47	+1.7%
	営業利益	422	440	<b>465</b>	+43	+10.3%	+25	+5.8%
	営業利益率	18.6%	16.0%	<b>16.6%</b>	▲2.0P		+0.6P	
精機事業	売上収益	2,032	2,130	<b>2,193</b>	+161	+7.9%	+63	+3.0%
	営業利益	245	120	<b>151</b>	▲94	▲38.2%	+31	+26.5%
	営業利益率	12.1%	5.6%	<b>6.9%</b>	▲5.2P		+1.3P	
ヘルスケア事業	売上収益	993	1,050	<b>1,078</b>	+85	+8.5%	+28	+2.8%
	営業利益	115	65	<b>53</b>	▲62	▲53.5%	▲12	▲17.1%
	営業利益率	11.7%	6.2%	<b>5.0%</b>	▲6.7P		▲1.2P	
コンポーネント事業	売上収益	530	470	<b>470</b>	▲60	▲11.4%	±0	+0.0%
	営業利益	220	150	<b>168</b>	▲52	▲23.8%	+18	+12.2%
	営業利益率	41.6%	31.9%	<b>35.8%</b>	▲5.8P		+3.9P	
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	420	620	<b>599</b>	+179	+42.4%	▲21	▲3.3%
	営業利益	▲101	▲130	<b>▲158</b>	▲57	-	▲28	-
	営業利益率	▲24.1%	▲21.0%	<b>▲26.4%</b>	▲2.3P		▲5.4P	
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	30	<b>32</b>	±0	+2.2%	+2	+9.9%
	営業利益	▲353	▲285	<b>▲283</b>	+70	-	+2	-
連結	売上収益	6,281	7,050	<b>7,172</b>	+891	+14.2%	+122	+1.7%
	営業利益	549	360	<b>397</b>	▲152	▲27.6%	+37	+10.5%
	営業利益率	8.7%	5.1%	<b>5.5%</b>	▲3.2P		+0.4P	

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 通期：映像事業



## ● 売上収益：前年比 +526億円（前回予想比 +47億円）

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は中国を中心に拡大
- 当社は、新製品（Z 8、Z f）の販売が好調に推移
- ミラーレスカメラおよび交換レンズへのシフトが進展
- 前年比では、ミラーレスカメラおよび交換レンズの販売数量増加、平均販売単価も上昇。円安効果も加わり、大幅増収
- 前回予想比では、製品ミックスの変化や円安効果により上振れ

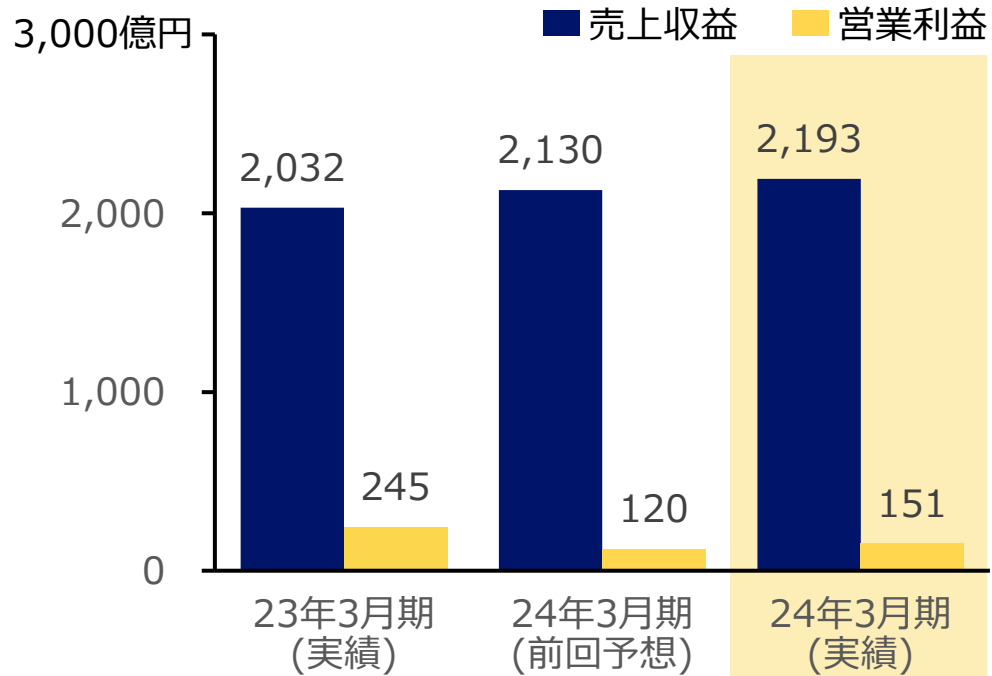
## ● 営業利益：前年比 +43億円（前回予想比 +25億円）

- 前年比では、調達部品価格の上昇、販売促進費等の増加があったものの、増収効果が上回り、増益
- 前回予想比では、増収により上振れ

### レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	581	610	620
ニコン	70	80	80
<b>交換レンズ（万本）</b>			
市場規模	940	980	987
ニコン	116	125	125

# 2024年3月期 通期：精機事業



## ● 売上収益：前年比 +161億円 (前回予想比 +63億円)

- 前年比では、FPD露光装置の販売台数は、顧客の設備投資の抑制により大幅に減少も、半導体露光装置の販売台数は、ArF液浸露光装置を中心に増加し、精機事業全体では増収
- 前回予想比では、中古露光装置の販売台数増加に加え、サービス収益が上振れ

## ● 営業利益：前年比 ▲94億円 (前回予想比 +31億円)

- 前年比では、FPD露光装置の販売台数減や、半導体装置事業でのサービス収益の減少等により、精機事業全体でも減益
- 前回予想比では、増収により上振れ

### FPD露光装置販売台数 (台)

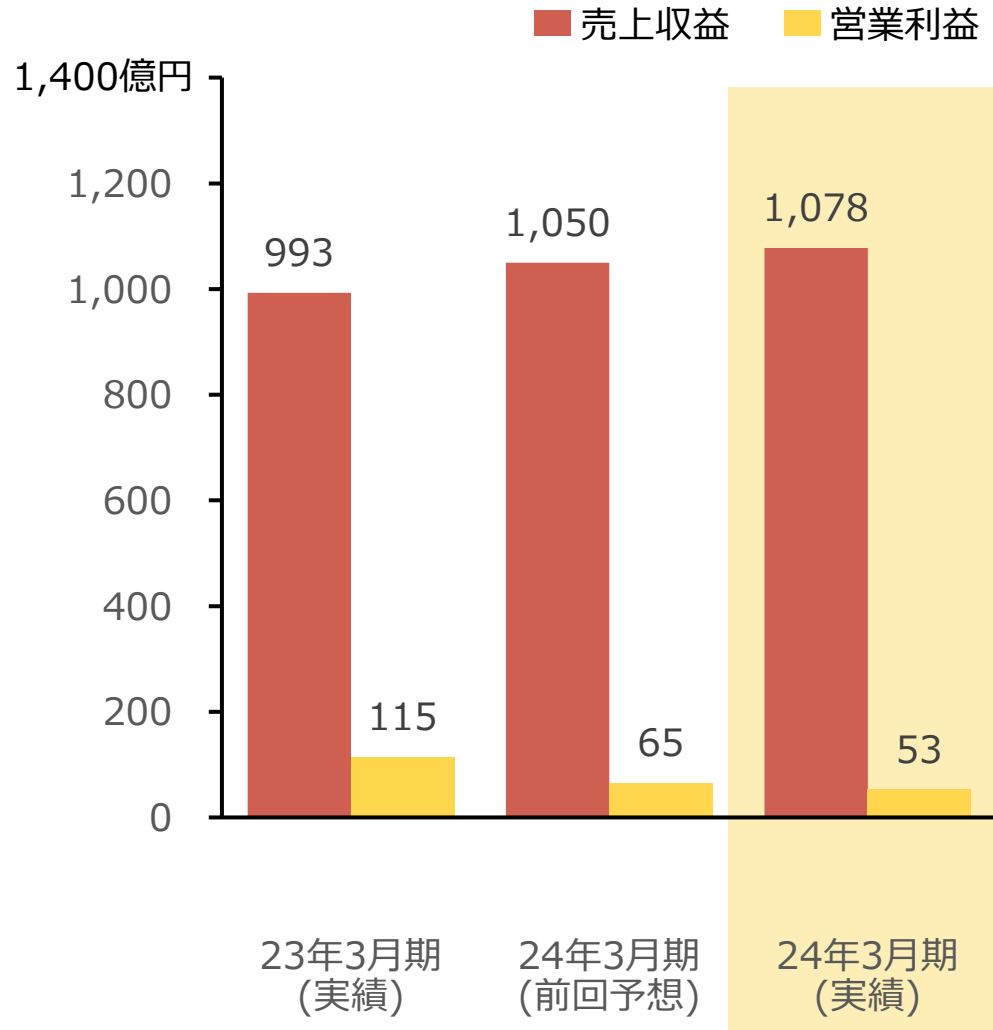
	23年3月期 (実績)	24年3月期 (前回予想)	24年3月期 (実績)
市場規模 (CY22/23)	79	46	46
ニコン	29	16	16

### 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (前回予想)	24年3月期 (実績)
市場規模 (CY22/23)	480	520	520
ニコン	27/18	30/12	31/15

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 通期：ヘルスケア事業



## ● 売上収益：前年比 +85億円（前回予想比 +28億円）

- ライフサイエンスや細胞受託生産での販売増や、円安効果もあり増収
- ライフサイエンスは、民間市場開拓や創薬支援などのソリューション提供が進展するも、市況の不透明感の高まりを背景に下期は販売減速
- アイケアは、中国を中心としたアジアへの拡販が進むも、前年の大口商談影響剥落により、販売は前年並み
- 細胞受託生産は、複数のプロジェクトが堅調に推移し売上拡大

## ● 営業利益：前年比 ▲62億円（前回予想比 ▲12億円）

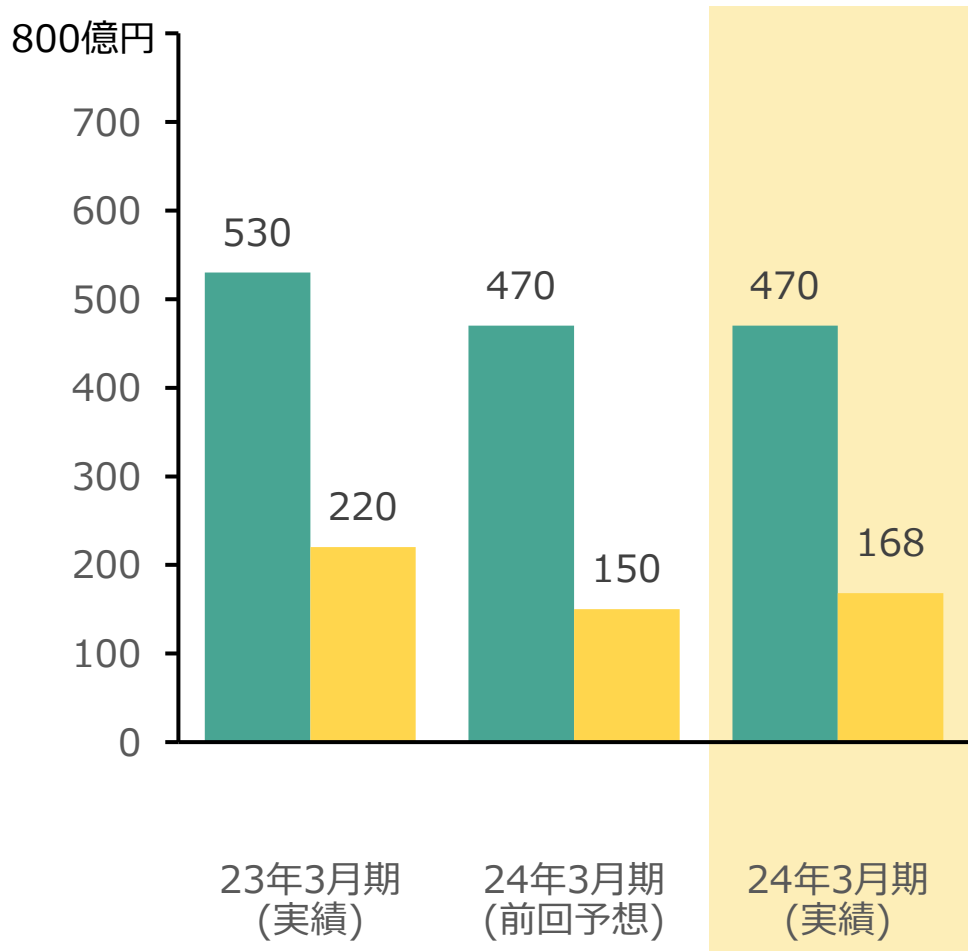
- 前年比では、増収による増益があるも、調達コストの上昇、研究開発費、要員やシステム投資の増加に加え、一時費用（41億円）の発生もあり減益
- 一時費用はアイケア中心。Q2に計上した引当金(\*) 14億円や関連する調査費用、棚卸資産の廃棄・評価損等
- 前回予想比では、ライフサイエンスは生物顕微鏡の販売数量が計画を下回り、アイケアでは一時費用が増加し、下振れ

\* 決算短信27ページ（偶発負債）参照



# 2024年3月期 通期：コンポーネント事業

■ 売上収益 ■ 営業利益



## ● 売上収益：前年比 ▲60億円（前回予想通り）

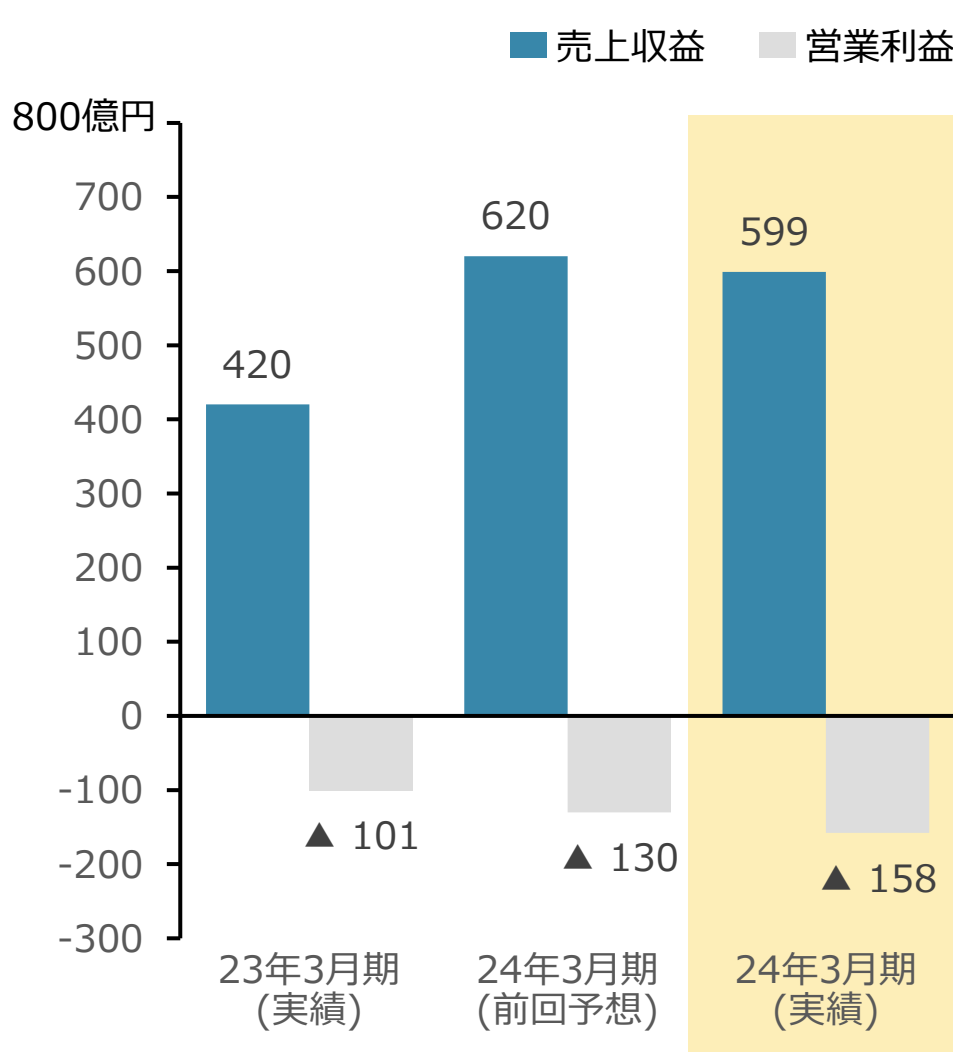
- 半導体デバイスメーカーの設備投資の遅れと稼働率低下により、EUV関連コンポーネントや光学部品は前年比販売減少
- ファクトリー・オートメーション市場需要低迷で、エンコーダは前年比減少
- FPDフォトマスク基板は市況低迷により前年比販売減少

## ● 営業利益：前年比 ▲52億円（前回予想比 +18億円）

- 前回予想比では、製品ミックスの良化により上振れ

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 通期：デジタルマニュファクチャリング事業



## ● 売上収益：前年比 +179億円 (前回予想比 ▲21億円)

- 前年Q4に連結化したSLM社が年間を通じて業績寄与したことにより、増収
- SLM社単体の年間売上収益は前年比15%増(\*)となり、過去最高額を記録
- 前回予想比では、産業機器事業が低調な半導体・電子部品市況の影響を受けたことにより下振れ

## ● 営業利益：前年比 ▲57億円 (前回予想比 ▲28億円)

- アドバンストマニュファクチャリング (ADM) 事業では、買収関連費用や構造改革費用は減少するも、SLM社買収に伴う無形資産償却費 (40億円) や米国拠点の立ち上げ費用増加等により、前年比営業赤字拡大
- SLM社単体では、Q4単独で初の黒字化を達成
- 前回予想比では、ADM事業は計画通り進捗。産業機器事業は、売上収益の計画未達に加え、不採算製品整理による開発資産の減損損失や棚卸廃棄・評価損などの一時費用 (17億円) が発生し、黒字予想から営業赤字に

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

\* SLM社単体の売上収益増減率は現地通貨 (ユーロ) ベースで算出

1. 2024年3月期 決算報告

2. 2025年3月期 通期見通し

# 2025年3月期 通期見通し：ポイント

**売上収益  
7,450億円**

- **前年比：+278億円**

- 映像事業は販売台数の増加に加え、RED Digital Cinema（RED社）の連結化により増収
- ヘルスケア事業やデジタルマニュファクチャリング事業は、さらなるビジネス拡大を見込む
- 精機事業およびコンポーネント事業は、一部半導体関連顧客の投資先送りの影響もあり、販売減少を見込む

**営業利益  
350億円**

- **前年比：▲47億円**

- ヘルスケア事業・デジタルマニュファクチャリング事業の増益および一時費用の減少を、映像事業の減益や全社費用の増加（新本社移転費用約50億円やIT関連投資等）が上回り、減益を見込む

**当期利益\*  
300億円**

- **前年比：▲25億円**

**1株当たり配当  
55円**

- **前年比5円増配の年間配当金55円**（中間配当金25円、期末配当金30円） 予定

- 中期経営計画最終年度の1株当たり配当60円に向け、漸増

**為替前提**

- **USドル：145円、ユーロ：155円**

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2025年3月期 通期見通し：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	7,172	<b>7,450</b>	+278	+3.9%
営業利益	397	<b>350</b>	▲47	▲12.0%
営業利益率	5.5%	4.7%	▲0.8P	
税引前利益	426	<b>400</b>	▲26	▲6.3%
税引前利益率	5.9%	5.4%	▲0.5P	
当期利益*	325	<b>300</b>	▲25	▲7.9%
当期利益率	4.5%	4.0%	▲0.5P	
ROE	5.0%	<b>4.3%</b>	▲0.7P	-
EPS	94.03円	<b>86.59円</b>	▲7.44円	-
年間配当	50円	<b>55円</b>	+5円	-
為替：USドル	145円	<b>145円</b>	売上収益への予想影響 ▲6	
ユーロ	157円	<b>155円</b>	営業利益への予想影響 ▲3	

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

注：予想EPSの前提となる発行済株式数：約346.5百万株

# 中期経営計画期間中の「株主還元方針」

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
		<b>中期経営計画期間 (4年間)</b>			
<b>1株当たり配当</b>	40円	<b>45円</b> (+5円増配)	<b>50円</b> (+5円増配)	<b>55円予想</b> (+5円増配)	<b>60円目標</b>
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">期末 20円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 20円</div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">期末 25円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 20円</div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">期末 25円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 25円</div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">期末 30円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 25円</div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">年間 60円</div>
<b>自己株式取得</b>	—	<b>300億円</b> <small>(発行済株式数の5.7%相当)</small>	—	<b>中期経営計画期間中に 300億円以上を機動的に実施</b>	
<b>自己株式消却</b>	—	<b>26百万株</b> <small>(消却前発行済株式数の7.6%)</small>	—	<b>取得した自己株式は原則消却する方針</b>	
<b>総還元性向</b>	<b>34.4%</b>	<b>102.0%</b>	<b>53.2%</b>	<b>40%以上目標</b>	
<b>政策保有株式の売却</b> <small>(自己株式取得の原資)</small>	<b>199億円</b>	<b>12億円</b>	<b>166億円</b>	<b>今後も売却を進める方針</b>	

総還元性向は目標40%以上を上回って推移、26年3月期年間60円配当に向けて段階的に増配

# セグメント変更（2025年3月期より）

旧セグメント	事業部		事業部	新セグメント
映像事業	映像事業部		映像事業部	映像事業
精機事業	精機事業本部	FPD装置事業部	精機事業本部 FPD装置事業部 半導体装置事業部	精機事業
		半導体装置事業部		
ヘルスケア事業	ヘルスケア事業部		ヘルスケア事業部	ヘルスケア事業
コンポーネント事業	カスタムプロダクツ事業部		カスタムプロダクツ事業部 ガラス事業室 デジタルソリューションズ事業部	コンポーネント事業
	ガラス事業室			
	デジタルソリューションズ事業部			
デジタル マニファクチャリング事業	産業機器事業部		産業機器事業部 → インダストリアルソリューションズ事業部	デジタル マニファクチャリング事業
	アドバンストマニファクチャリング (ADM) 事業部		アドバンストマニファクチャリング (ADM) 事業部	
その他	その他		その他	その他
全社費用等	親会社の本部部門		親会社の本部部門	全社費用等

旧・産業機器事業部を「コンポーネント事業」の一部として開示。「デジタルマニファクチャリング事業」はADM事業部のみに

# 2025年3月期 通期見通し：セグメント別見通し（新セグメント）

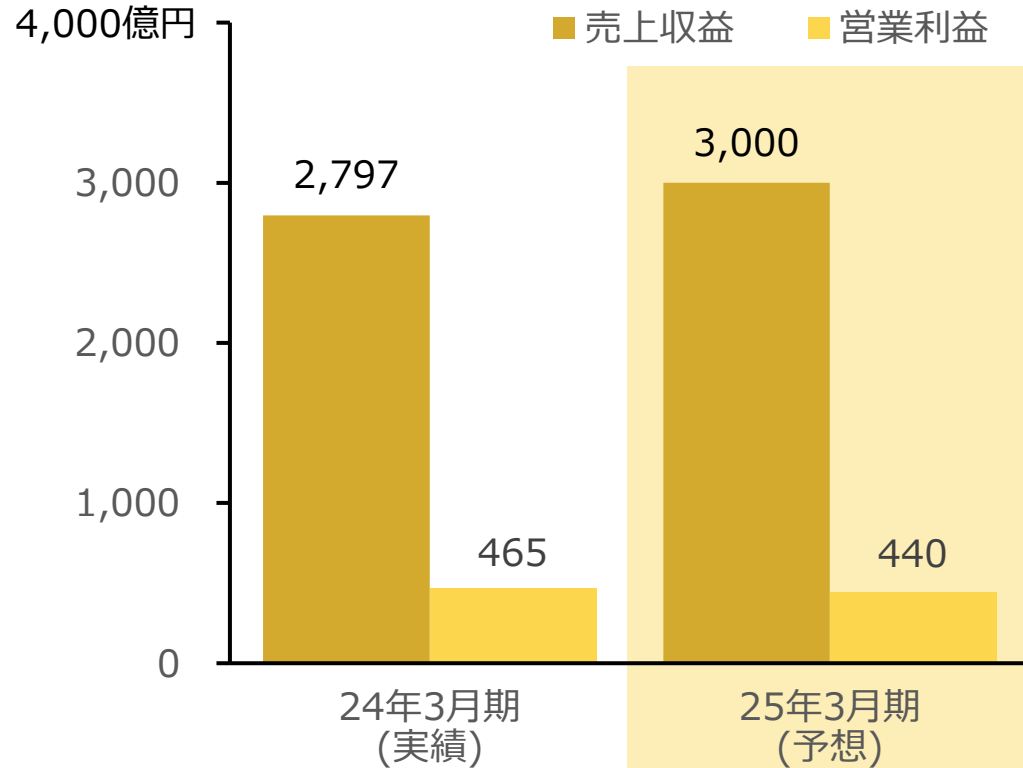
単位：億円

		24年3月期 実績	25年3月期 見通し	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	2,797	3,000	+203	+7.2%
	営業利益	465	440	▲25	▲5.5%
	営業利益率	16.6%	14.7%	▲1.9P	
精機事業	売上収益	2,193	2,150	▲43	▲2.0%
	営業利益	151	150	▲1	▲1.2%
	営業利益率	6.9%	7.0%	+0.1P	
ヘルスケア事業	売上収益	1,078	1,150	+72	+6.6%
	営業利益	53	110	+57	+104.1%
	営業利益率	5.0%	9.6%	+4.6P	
コンポーネント事業	売上収益	859	850	▲9	▲1.1%
	営業利益	151	170	+19	+12.4%
	営業利益率	17.6%	20.0%	+2.4P	
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	210	280	+70	+33.3%
	営業利益	▲140	▲95	+45	-
	営業利益率	▲67.1%	▲33.9%	+33.2P	
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	20	▲12	▲39.4%
	営業利益	▲283	▲425	▲142	-
連結	売上収益	7,172	7,450	+278	+3.9%
	営業利益	397	350	▲47	▲12.0%
	営業利益率	5.5%	4.7%	▲0.8P	

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値



# 2025年3月期 通期見通し：映像事業



## ● 売上収益：前年比 +203億円

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は堅調に推移。特に中高級機の伸長を見込む
- 当社は中高級機への注力を継続し、販売台数、売上拡大
- 2024年4月、米国の業務用シネマカメラメーカーRED社を買収。今後拡大が見込まれる業務用動画市場の開拓を目指す

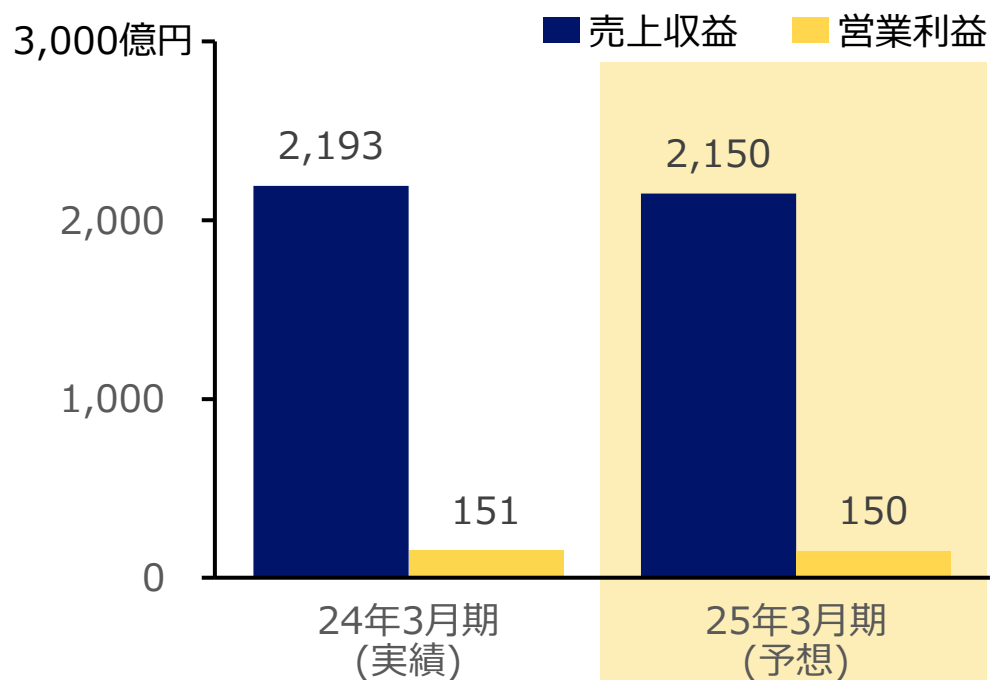
## ● 営業利益：前年比 ▲25億円

- RED社買収関連費用や研究開発費の増加等により減益

### レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	620	610
ニコン	80	85
交換レンズ (万本)		
市場規模	987	960
ニコン	125	135

# 2025年3月期 通期見通し：精機事業



## ● 売上収益：前年比 ▲43億円

- ArF露光装置の販売台数減少を、高精細パネル向け8世代FPD露光装置の大幅な販売増加で打ち返し、略前年並み

## ● 営業利益：前年比 ▲1億円

- 半導体露光装置はArF露光装置の販売台数減少により減益。一方、FPD露光装置の増収による増益、半導体装置事業のサービス収益の改善により、事業全体では前年並みを見込む

### FPD露光装置販売台数 (台)

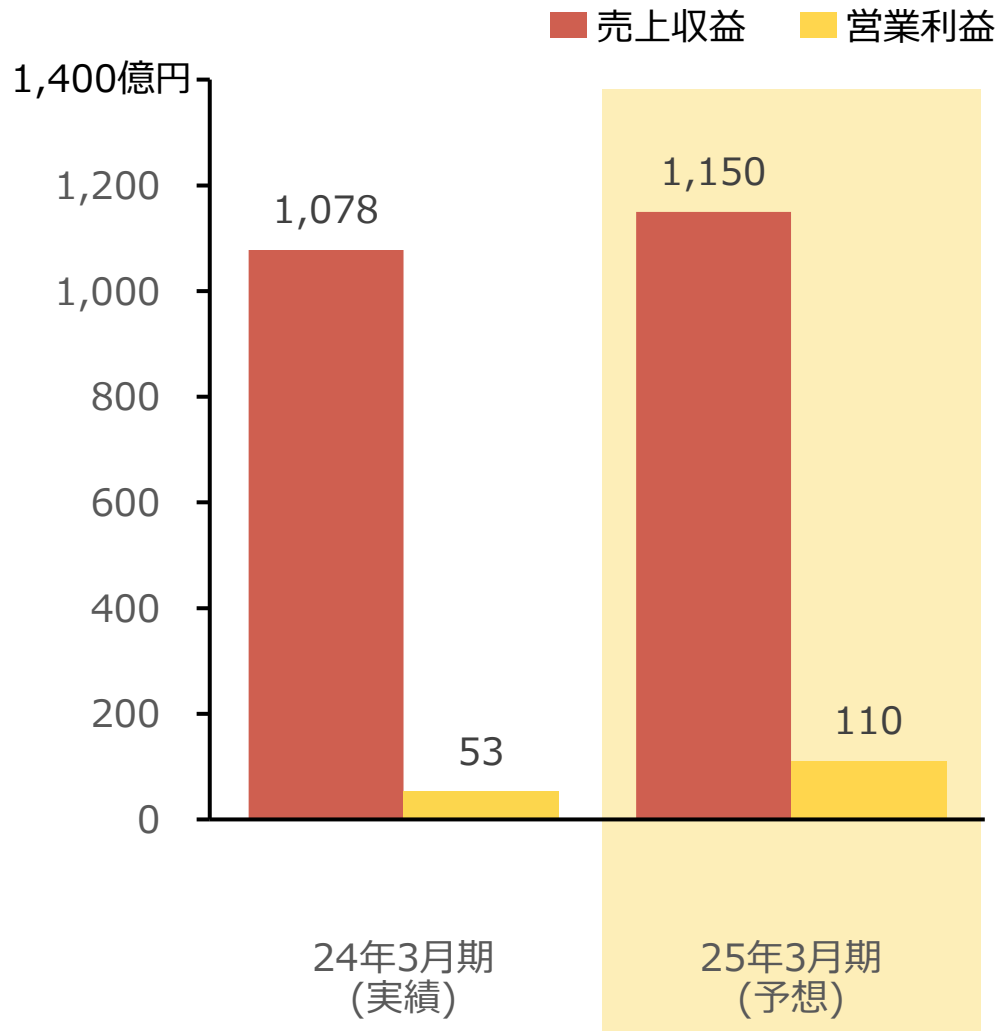
市場規模 (CY23/24)	46	60
ニコン	16	39

### 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY23/24)	520	600
ニコン	31/15	24/11

注：25年3月期より、CY24半導体露光装置の市場規模には、200ミリ以下対応の露光機を新たに含める。

# 2025年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



## ● 売上収益：前年比 +72億円

- ライフサイエンスは、欧米を中心とした金利上昇や米国連邦政府予算の影響による顧客の投資抑制の懸念があるものの、民間市場の開拓、創薬支援サービス強化により、販売増を見込む
- アイケアは、主力の北米に加え、アジアなど全地域での販売増を見込む
- 細胞受託生産は、既存プロジェクトの拡大による増収を見込む

## ● 営業利益：前年比 +57億円

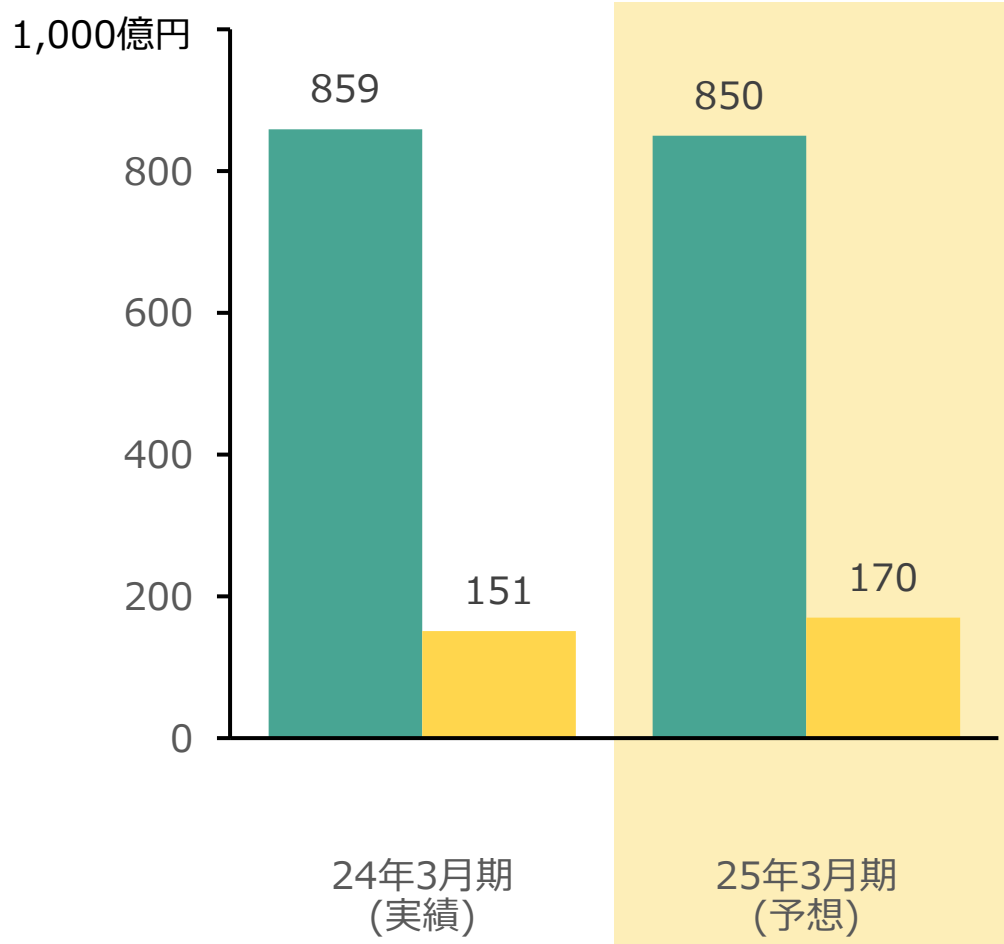
- 増収に伴う増益に加え、アイケアの引当金(\*)関連を含む一時費用の減少により増益

一時費用の内訳	24年3月期 実績	25年3月期予想 の前提
アイケアの引当金と関連する一時費用 (うち、引当金繰入)	38億円 (14億円)	10億円 (-)
その他	3億円	-
<b>一時費用の合計</b>	<b>41億円</b>	<b>10億円</b>

\* 決算短信27ページ（偶発負債）参照

# 2025年3月期 通期見通し：コンポーネント事業

■ 売上収益 ■ 営業利益



## ● 売上収益：前年比 ▲9億円

- 半導体関連の需要回復は想定より遅れ、光学コンポーネントやEUV関連コンポーネントは販売減少を見込む
- FPDフォトマスク基板は市況回復により販売増加
- 画像測定システムやX線/CT検査装置などの測定検査機は前年並みを見込む

## ● 営業利益：前年比 +19億円

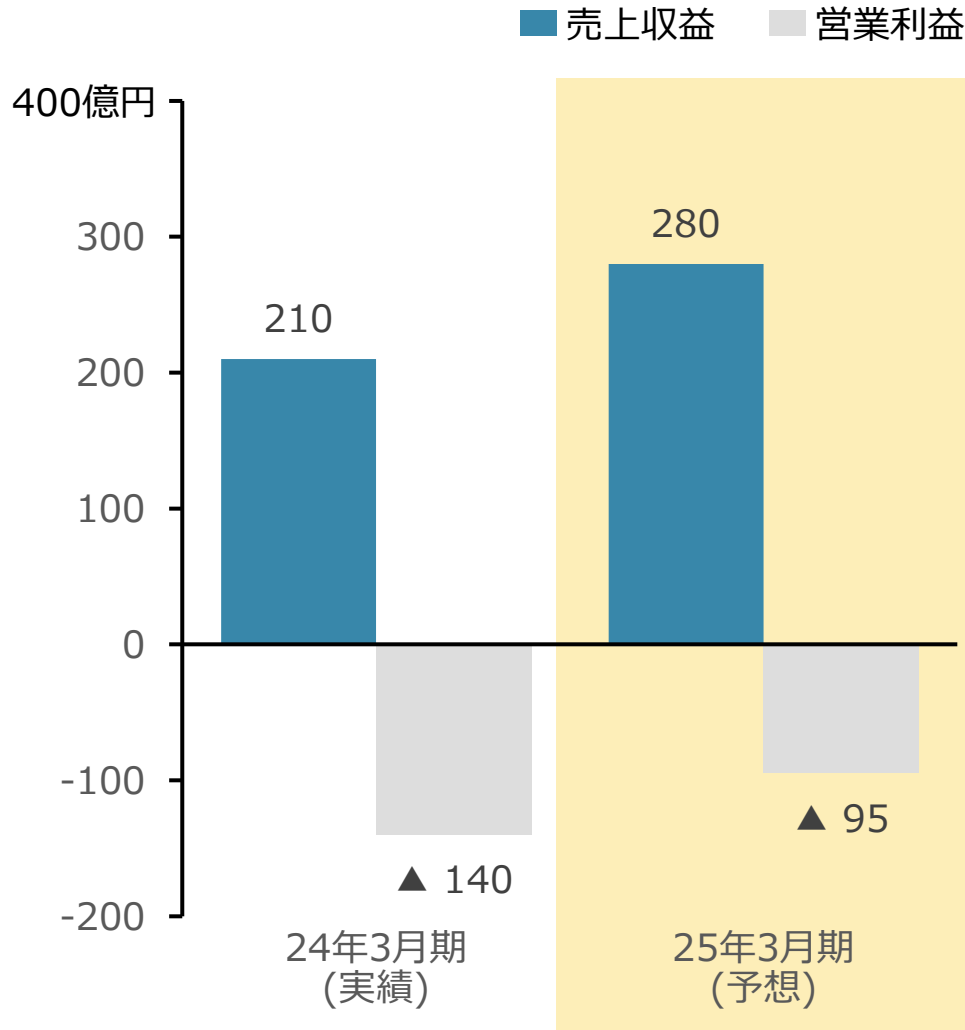
- インダストリアルソリューションズ事業(\*)で前年に計上した固定資産減損損失等の一時費用の剥落(20億円)により増益を見込む

一時費用の内訳	24年3月期実績	25年3月期予想の前提
旧デジタルソリューションズ事業	3億円	-
旧産業機器事業	17億円	-
<b>インダストリアルソリューションズ事業合計</b>	<b>20億円</b>	<b>見込まず</b>

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

\* デジタルマニュファクチャリング事業に含まれていた旧産業機器事業部はコンポーネント事業の一部として開示。24年4月より、同事業部は旧デジタルソリューションズ事業部と統合しインダストリアルソリューションズ事業部に

# 2025年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



## ● 売上収益：前年比 +70億円

- 金属3Dプリンター市場は、航空宇宙・防衛産業での需要増加により、大型機を中心に拡大を予想
- SLM社は、大型金属3Dプリンター（NXGシリーズ）の好調な受注を背景に増収を見込む
- SLM社の24年3月期の年間受注高は前年比40%増加し、過去最高を記録。同期末時点での受注残高は100億円規模まで増加

## ● 営業利益：前年比 +45億円

- 増収効果と前年の一時費用の剥落（18億円）により、営業赤字幅は縮小
- SLM社はEBITDAベースで通期黒字を目指す

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

旧・産業機器事業部を「コンポーネント事業」の一部として開示。「デジタルマニュファクチャリング事業」に属するのはADM事業部のみ

注：25年3月期のSLM社買収に伴う無形資産償却費見込額：36億円